

第一生命サラッと一句！わたしの川柳コンクール

サラ川で見る「日本の環境問題取組み」

第一生命保険株式会社
第一生命経済研究所



サラ川最新情報はこちら

特設サイトでは様々な情報を公開しています。

サラ川小冊子シリーズは Web でもご覧いただけます。

サラ川特設サイト

<https://event.dai-ichi-life.co.jp/company/senryu/index.html>



川柳、雅号は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字等での表記で掲載しています。
この小冊子の作品の著作権は、すべて第一生命に帰属しています。無断での転載、使用はご遠慮ください。

お届けしたのは…

はじめに

サラ川^{せん}で見る「日本の環境問題取組み」

2022年から「第一生命サラッと一句！わたしの川柳コンクール」にリニューアルされた「サラ川」は、「第一生命サラリーマン川柳」として1987年にスタートし、川柳を通じて「世相」や「人々との関わり」を表してきました。今回は、私たちの社会、生活にも大きな関わりがある環境問題取組みをテーマとしています。

現在、地球温暖化に代表される気候変動への取組みが世界中で加速しています。日本を含む世界の150か国以上が、森林吸収などを差し引いた全体としての温室効果ガスの排出量をゼロにするという「カーボン・ニュートラル」を目標として掲げています。国全体の排出量を全体としてゼロにすると聞くと、壮大で私たちには関係が薄いように感じます。しかし、温室効果ガス排出量の6割以上は「食」や「住まい」といった私たちの生活に関係する活動によるものです。そういったことを踏まえると、私たち一人ひとりが環境問題に取り組むことが重要だといえるでしょう。

そこで今回は、サラ川という切り口から、詠み手の皆さんの環境問題への認識や取組み方など、私たちが環境問題を考える上で重要なポイントを覗いてみましょう。

本小冊子に登場する環境取組みに関連する主な動き

1979年	省エネ法(エネルギー使用の合理化対策について定めた法律)施行
1991年	リサイクル法(分別回収・再資源化・再利用について定めた法律)施行
1993年	環境基本法(環境保全に向けた基本的方向を示した法律)施行
1994年	気候変動枠組条約(地球温暖化防止のための国際的枠組みを定めた条約)発効
1999年	温暖化対策推進法(国・事業者・国民などの地球温暖化対策推進を図る法律)施行
2000年	ダイオキシン類対策特別措置法(ダイオキシン対策の基準などを定めた法律)施行
2001年	循環型社会形成推進基本法(循環型社会形成に向けた取組み推進を図る法律)施行 家電リサイクル法(家電関連の資源再利用推進を図る法律)施行
2005年	京都議定書(先進国での具体的な温室効果ガス削減目標(90年比▲5%)を定めた国際的取り決め)発効 自動車リサイクル法(自動車関連の資源再利用推進を図る法律)施行
2008年	生物多様性基本法(生物多様性保全と持続可能な資源利用推進を図る法律)施行
2011年	東日本大震災発生
2012年	再生可能エネルギー固定価格買取制度開始
2016年	パリ協定(京都議定書の後継となる気候変動問題に関する国際的枠組み)発効
2020年	全国でレジ袋が有料化 日本政府2050年カーボン・ニュートラル宣言

節約と 人には言わず エコと言う

環境問題 (第23回 2009年)

手抜きした 妻の言いわけ エコ弁当

とらさん (第23回 2009年)

エコとケチ 主役で変わる その呼び名

セコの達人 (第24回 2010年)

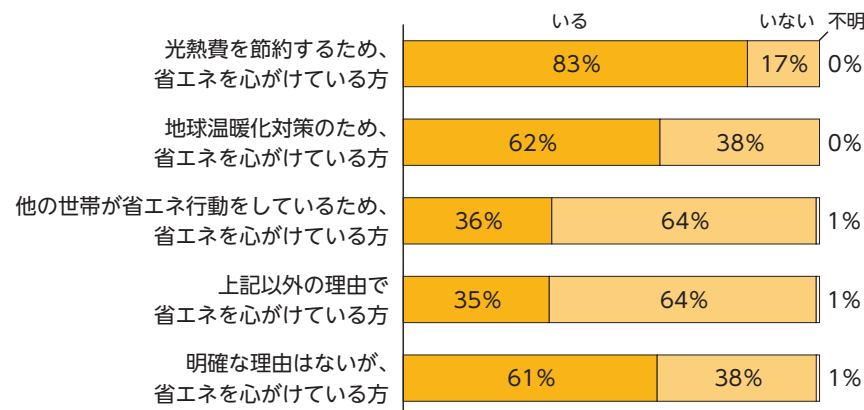
残り物 「これもエコよ」と 妻は食う

満腹ママ (第25回 2011年)

妻曰く あなたはケチで 私エコ

湘南彦助 (第32回 2018年)

省エネルギー行動実施理由「お宅では以下の状況に該当する方はいますか。」



出典：環境省「令和2年度 家庭部門のCO₂排出実態統計調査」

環境問題取組みの一つである、省エネ行動の実施理由を聞いたアンケートでは、「光熱費を節約するため」という理由が最も多くなっています。「節電するようになってから、電気代が安くなった」「エコカーに変えてから、ガソリン代が安くなった」など、効果が金額として見えることから、節約は、環境取組みに対する強力な動機となります。

1973年の第一次オイルショック以降、世界中でエネルギー削減の必要性が叫ばれるようになりました。日本においても、1979年に「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」の制定をきっかけとして省エネ政策が始まり、国民の間に省エネの意識が広がっていきました。

皆さんの句にも、節約を意識しながらフードロス削減などのエコ活動に取り組んでいる様子を描いたものがあります。節約を「ケチ」と言う人もいますが、環境にやさしい取組みならば前向きに「エコ」と呼んでみてはいかがでしょうか。

ウォームビズ 重ね着腹巻 足袋炬燵

もともと (第19回 2005年)

これがエコ 孫とそいねで ポツカポカ

人生これから (第21回 2007年)

もどったね エコのおかげで 川の字寝

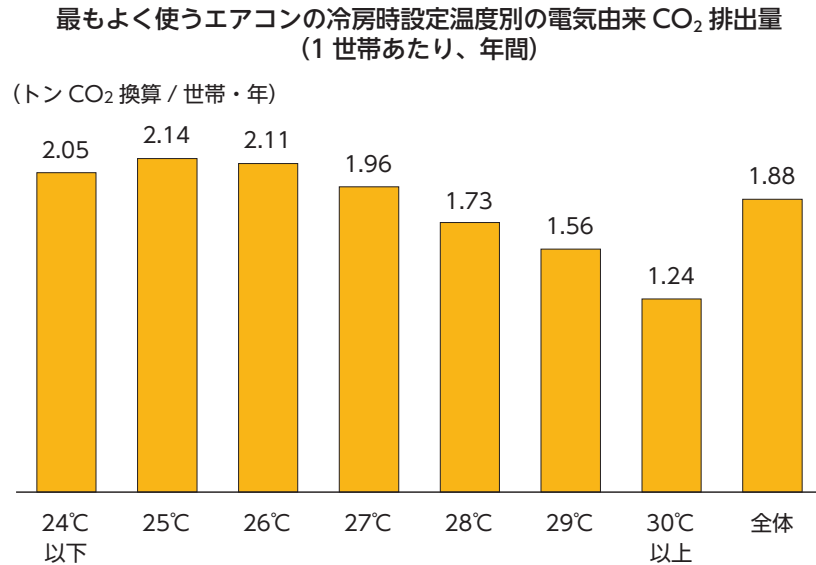
川柳大好き (第22回 2008年)

クールビズ もどりたくない ネクタイに

世相仮面 (第25回 2011年)

クールビズ うちわ持つ手が 腱鞘炎

室温は常に真夏日次郎 (第33回 2019年)



出典：環境省「令和2年度 家庭部門のCO₂排出実態統計調査」

冷房時の設定温度を高くしたり、暖房時の設定温度を低くしたりすることは、消費電力低下を通じてCO₂排出削減につながります。2011年の東日本大震災以降は、原子力発電所の運転停止に伴う電力需給の逼迫を受けて、節電の意識がより一層高まりました。職場や公共の場、交通機関でも冷暖房が控えめになつて、以前より暑い夏・寒い冬を経験された方も多いのではないのでしょうか。

しかし、設定温度の調整以外にも、クールビズやウォームビズといった服装による体感温度の調整や、できるだけ家族が同じ空間で過ごすなどの工夫をしている方もいるようです。皆さんの句からも、環境に配慮したさまざまな方法で、暑さ寒さに対応している様子が見て取れます。

環境のためとはいえ、冷暖房を控えるだけでは暑さ寒さに参ってしまいます。服装や過ごし方も工夫しながら快適に過ごしたいものです。

服の色 合わせて選ぶ エコバック

伊達巻(第22回 2008年)

エコバッグ 忘れて五円に 身悶えす

ミッチーとの遭遇(第23回 2009年)

ブランドの バックの中に エコバック

割引セール(第24回 2010年)

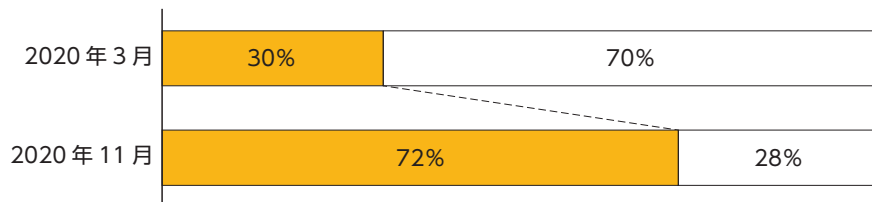
余っても 処分しづらい エコバック

パン屋の梅ちゃん(第25回 2011年)

エコバック 毎度忘れて 小銭ロス

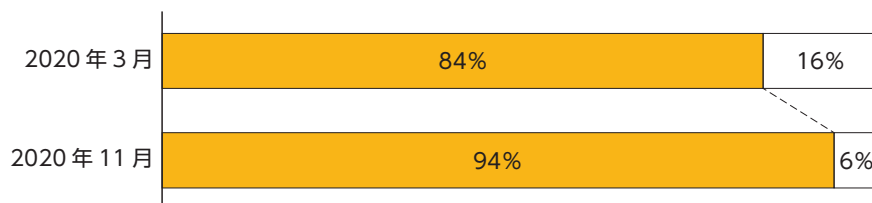
よしにゃん(第35回 2021年)

最近1週間のレジ袋を辞退した人の割合



出典：環境省「令和2年11月レジ袋使用状況に関するWEB調査」

買い物時に買った品物を入れるためのエコバッグを持っている人の割合



出典：環境省「令和2年11月レジ袋使用状況に関するWEB調査」

2020年7月に全国でレジ袋が有料化されました。お店で買い物する際には、レジ袋1枚2〜5円程度で購入する必要が生じたため、レジ袋を辞退する人が増加しました。

レジ袋有料化前の2020年3月時点では、レジ袋を辞退する人は31%でしたが、有料化後の同年11月には72%まで増加しました。また、エコバッグを持っている方の割合も、レジ袋有料化前の84%から有料化後には94%まで上昇しました。

サラ川の中には、身近な存在になったエコバッグに関する句も見られます。エコバッグをファッションの一部として楽しんでいる方もいる一方で、エコバッグを買ったの良いものの、買い物先に持っていくのをつい忘れてしまうといった「あるある」な場面が切り取られています。句を詠んでいる皆さんも、エコバッグという身近なところから環境問題に取り組まれているようです。

子は捨てて 親が拾う 物の価値

リサイクル万才（第10回 1996年）

転ぶなよ 衣装がレンタル 七五三

雪月花（第11回 1997年）

服がなく 母のを借りたら 今ハヤリ

ダイヤホープ（第14回 2000年）

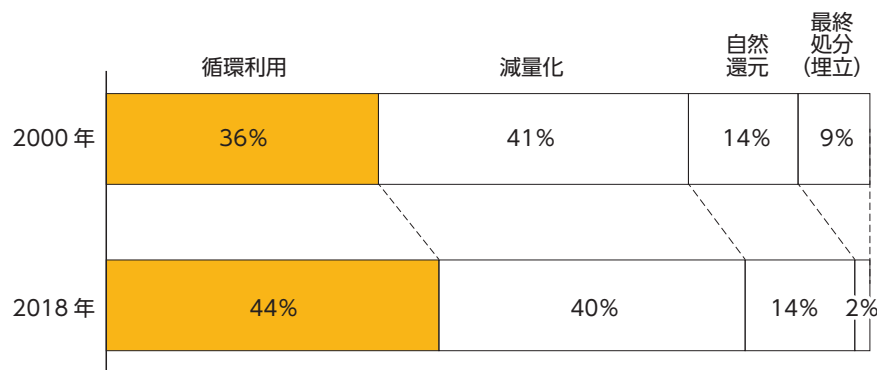
わしのシャツ 息子の古^{ふる}に 孫の古^{ふる}

エコ爺さん（第21回 2007年）

趣味読書 昔新刊 今図書館

オタツキー（第22回 2008年）

日本における廃棄量に占める循環利用を含む各処分法の割合



出典：環境省「令和3年度 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」

日本には昔から、「もったいない」という言葉に代表されるように、モノを捨てずに有効活用しようという考え方があります。1991年のリサイクル法施行、2001年の循環型社会形成推進基本法施行などをきっかけとして、近年では「買って、不要になったら捨てる」というのとは異なる考え方が注目されています。

その一例が、サーキュラー・エコノミーです。サーキュラー・エコノミーとは、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済とは異なり、モノの効率的・循環的な利用を図る経済のことです。モノの再利用はもちろん、レンタルやシェアリングといった利用法なども含まれます。

皆さんのサラ川の句にも、「もったいない」精神に代表されるような、サーキュラー・エコノミーの考え方が見受けられます。買って捨てるのではなく、借りたり、再利用したりといった、環境にやさしい消費行動を心がけたいものです。

大型のくるま乗りつけ エコ会議

小童役人の妻こわっぱ（第21回） 2007年

自転車も付けてください エコ減税

子持ちママ（第23回） 2009年

エアコンを ぜんかいかけて エコ会議

孫悟空（第24回） 2010年

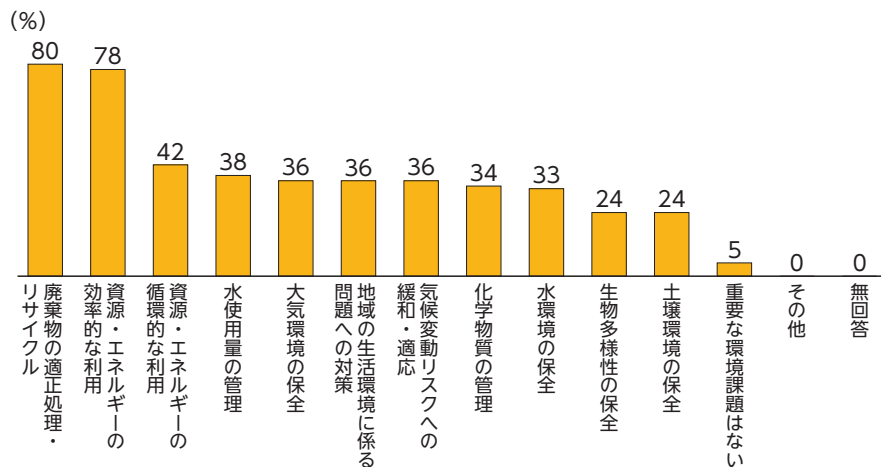
社内エコ 無駄を無くせと 配る紙

飛べないコンドル（第31回） 2017年

SDGs 掲げた我が社 持続せず

千流迷塵（第35回） 2021年

事業エリア内で重要な環境課題と位置づけているもの（複数回答）



出典：環境省「令和元年度環境にやさしい企業行動調査」

2020年、当時の菅首相によって、2050年カーボン・ニュートラル宣言が行われて以降、気候変動に対する取組みは加速していますが、以前から企業では省エネや資源の節約などに向けて、さまざまな取組みが行われてきました。

皆さんの職場でも、節電や節水、ペーパーレスといった取組みが行われているのではないのでしょうか。しかし、せっかくの取組みも有効性が低い方法では意味が薄れてしまいます。例えば、節電を進めるための会議で電力を浪費したり、ペーパーレスに向けた取組みを推進するための会議資料を大量に印刷したりといった、本末転倒な取組みは避けるべきでしょう。

皆さんの句にも、環境問題取組みに対する認識として「無駄」「むしろ逆行」という辛口の意見も見受けられます。取組みを進めるためには、ただ何かをやるのではなく、有効性と持続性のある方法を模索していく必要があるでしょう。



世良 多加紘 (せら たかひろ)
第一生命経済研究所 副主任研究員

<主な経歴>

2017 年第一生命保険入社。2019 年より、第一生命経済研究所にて調査研究業務に従事し、現在に至る。
研究テーマは、Society5.0 for SDGs、カーボン・ニュートラル、GX 関連全般、コロナ婚等。

<書籍のご案内>

「幸せ」視点のライフデザイン

(著) 第一生命経済研究所

東洋経済新報社刊



序 章	多様性を受け入れ、幸せを体感する ライフデザインに向けて
第 1 部	つながり
第 1 章	ニューノーマルと「つながり」
第 2 章	変化する、家族のあり方
第 3 章	余暇・交流の新しい形
第 4 章	多様な働き方と新しいつながり方
第 2 部	お金
第 5 章	「働きやすさ」から「働きがい」へ
第 6 章	「幸せ」視点から見た経済・家計
第 3 部	健康
第 7 章	体と心の健康づくり
第 8 章	ユニバーサル社会に向けて
特別企画	インタビュー 人生 100 年時代の well-being を考える
終 章	「幸せ」視点のライフデザイン

さといこ

サラ川の句からは、家計の節約や冷暖房、買い物に使うエコバッグなど、身近なことから皆さんが環境問題に取り組んでいる様子が見られました。一方で、企業などが行っている環境問題取組みに対する認識として、「実際には取組みが役立っていない」という厳しい意見も垣間見えました。

今後、国民一人ひとりの理解や協力によって、政府や企業も有効性や持続性のある対策を進めやすくなるでしょう。皆さんが納得感を持つて取り組むためには、ただ形式的に何かをやるのではなく、有効な方法について考え、議論する必要があるでしょう。

そうした議論に向けては、皆さんが環境問題について知り、興味を持つことが大切です。これからは、サラ川を通じて、環境問題に対する見方や取組みのヒントを得るといふ楽しみ方もしていただけたら幸いです。